

MAFFアプリと熱中症警戒アラート等の連携

令和6年6月28日（金）から、すでに連携している「熱中症警戒アラート」に加え、「**熱中症特別警戒アラート**」との連携を開始します。翌日に熱中症特別警戒アラートが発表された場合、MAFFアプリでも情報を確認することができます。

<ユーザーへのお知らせ方法>

環境省から、熱中症警戒アラート・熱中症特別警戒アラートが発表されましたら、順次、①MAFFアプリのホーム画面における通知、②ロック画面のプッシュ通知を実施します。

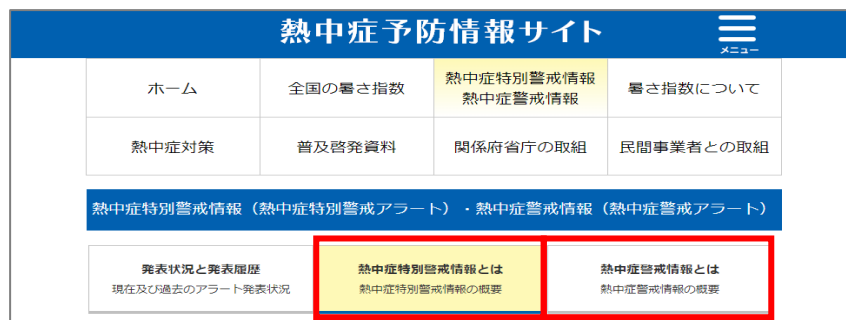
①MAFFアプリのホーム画面



②ロック画面



①MAFFアプリのホーム画面における通知、②ロック画面のプッシュ通知をクリックすると、環境省「熱中症予防情報サイト」が表示されます。



※**熱中症警戒アラート**は、前日の17時または当日の5時に発表されます。

MAFFアプリのホーム画面においては、

前日の17時30分頃または当日の5時30分頃の通知を予定しています。

※**熱中症特別警戒アラート**は、前日の14時に発表されます。

MAFFアプリのホーム画面においては、前日の17時00分頃の通知を予定しています。

※**プッシュ通知**は、当日の7時頃を予定しています。

<MAFFアプリの操作方法>

①MAFFアプリをダウンロード



iOS



Android

MAFFアプリストアのURL

iOS :

<https://itunes.apple.com/jp/app/id1503326833?mt=8>

Android :

<https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.co.maff.maffapp>

②push通知機能をONに設定

こちらの設定を行っていただくことで、お住まいの地域で、熱中症警戒アラート・熱中症特別警戒アラートが発表された際に、MAFFアプリの通知を受け取ることができます。

マイページのプロフィール設定で、

①都道府県と市区町村を設定

②push通知をON

③更新

※上記のアプリ上での設定を行っても通知が受け取れない場合は、お使いのデバイスの設定が「通知オフ」となっている可能性がございます。併せてご確認ください。

17:58

< プロフィール設定 >

地域、分野、関心のある作物、関心事項に合わせて情報をお届けしています。

ユーザ区分

☒ 農業者 ☐ 林業者

☐ 木材産業者 ☐ 漁業者

☐ 養殖業者 ☐ 水産加工業者

☐ 行政職員 ☐ 普及指導員

☐ 団体職員 ☐ 食品産業事業者

☐ 民間事業者 ☐ その他

都道府県

未選択 ▼

市区町村

分野

更新

17:59

< プロフィール設定 >

☐ 組織経営 ☐ 家族経営

主な作物

☒ 未選択 ☐ 米

☐ 麦・豆・いも ☐ 露地野菜

☐ 施設野菜 ☐ 果樹

☐ 茶 ☐ 花き

☐ 酪農 ☐ 牛肉

☐ 養豚 ☐ 養鶏

☐ その他

農業従事年数 (小数点は入力できません)

年

push通知

☒ ON ☐ OFF

更新

高温に伴う農作物等の被害防止に向けた技術指導の徹底について（抜粋）

【野菜】

全般

- （１） かん水は、立地条件や品目、生育状態等を十分考慮し、早朝・夕方に実施する。施設内でのかん水は、湿度が高くなりやすくなることから、夜間や曇雨天の日中には、通風するなどして湿度を下げる。また、地温上昇の抑制や土壌水分の保持を図るため、使用時期や施肥等に留意し、地温抑制マルチや敷わら等を活用する。高温耐性品種の選定に当たっては、立地条件、品種特性、需給動向等を十分に考慮する。
- （２） 施設栽培は、妻面・側面を開放するとともに、作物の光要求性に応じて、遮光資材等を使用し、施設内の温度上昇を抑制する。遮光資材は、果実の日焼けや葉やけの防止にも有効である。循環扇は、局所的な高温・高湿空気の滞留を防ぎ、室内温度・湿度の均一化が図られるとともに、作業快適性の向上が期待できる。さらに、天窓の開閉や換気扇等を活用した換気、遮光資材、細霧冷房等の対策と併用することが重要である。
- （３） こまめな除草や側枝、弱小枝及び下葉を除去し、風通しを良くする。
- （４） 育苗箱は、コンテナやブロックでかさ上げし、風通しを良くする。

【果樹】

（１） 全般

高温で土壌が乾燥すると、葉などからの蒸散作用が抑えられ高温障害が助長されるため、土壌が乾燥しないよう十分かん水を行う。

（２） 特にこれから収穫を迎える果実

高温によって果実の日焼けが発生しやすい園地においては、各種資材による遮光等の対策をとる。また、着色の遅延に伴い収穫時期が遅れ、果実が過熟とならないよう、糖度や食味の確認をしつつ適期収穫に努める。

【花き】

- (1) かん水は、立地条件や品目、生育状態等を十分考慮し、早朝・夕方に実施する。施設内でのかん水は、湿度が高くなりやすくなることから、夜間や曇雨天の日中には、通風するなどして湿度を下げる。
- (2) 切り花については、朝・夕の気温の低い時間に採花し、常温で長時間放置しない。また、エチレンによる劣化を防ぐため前処理剤を使用し、品質の維持に努める。
- (3) 施設栽培の花きについては、施設内の温度上昇を抑制するため、妻面・側面を開放するとともに、作物の光要求性に応じて、遮光資材等を使用する。細霧冷房装置、換気装置等を設置している施設では、当該装置を有効に利用して適切な温度及び湿度の管理に努める。

【園芸用施設】

施設栽培は、妻面・側面を開放するとともに、作物の光要求性に応じて、遮光資材等を使用し、施設内の温度上昇を抑制する。遮光資材は、果実の日焼けや葉やけの防止にも有効である。循環扇は、局所的な高温・高湿空気の滞留を防ぎ、室内温度・湿度の均一化が図られるとともに、作業快適性の向上が期待できる。さらに、天窓の開閉や換気扇等を活用した換気、遮光資材、細霧冷房等の対策と併用することが重要である。

果樹類のカメムシ類の被害にご注意ください！

果樹類のカメムシ類とは

- 果樹類（かんきつ、りんご、なし、かき等）の果実を吸汁加害するカメムシの総称であり、**落果や奇形果等の被害**を与えます。
- 主な種類は、**チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ**であり、森林のスギ、ヒノキなどの球果を餌に繁殖し、果樹園に飛来します。

主なカメムシ類



チャバネアオカメムシ



ツヤアオカメムシ



クサギカメムシ

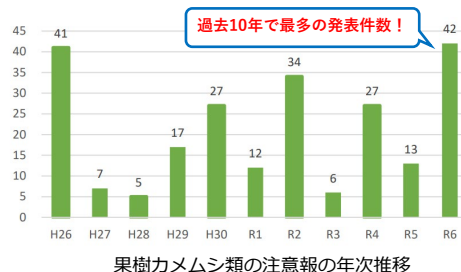


被害の状況



被害の発生に注意

- 令和5年12月から本年2月の平均気温が全国でかなり高かったことから、越冬個体の数が多く、関東以西のカメムシ類の発生量が多くなりました。
- 通常7月以降はスギ林やヒノキ林へ移動すると考えられていますが、餌の球果が豊富で当年世代が多発した場合のみならず、球果が極端に少ない場合にも、**越冬世代や当年世代が7月以降も果樹園地へ飛来するおそれ**があります。



防除対策

- カメムシ類の発生状況に応じて、以下のような防除対策を適切に実施してください。また、**スギ林やヒノキ林の隣接園では被害が多いことから、特に飛来状況に注意**してください。

○多目的防災網等の設置

発生が多い地域では、多目的防災網又は防虫ネットを設置しましょう。設置の際は、破れや隙間がないか念入りに点検しましょう。

○速やかな薬剤散布の実施

都道府県の病虫害防除所が発表する発生予察情報などの病虫害の防除に関する情報を参考に、園内を観察し、飛来を確認した場合速やかに薬剤散布を実施しましょう。

（薬剤散布のポイント）

- ・ カメムシ類は、薄暮期から夜間を中心に活動するため、夕方に薬剤散布を行うと効果的です。
- ・ 薬剤散布の際には、天敵への影響にも注意してください。

○袋かけの実施

なし、ぶどう等の有袋栽培の場合、早期に袋かけを実施しましょう。ただし、袋をかけていても、果実が肥大して袋に密着すると被害をうける場合があるので、注意してください。

高温対策栽培体系への転換支援

【令和5年度補正予算額 270百万円】
（関連事業：産地生産基盤パワーアップ事業 31,000百万円の内数）

<対策のポイント>

今夏の猛暑を始めとする高温化傾向による農作物への影響を軽減するため、高温環境に適応した栽培体系への転換に向けて、**地域の実情や品目に応じた高温耐性品種や高温対策栽培技術を迅速に産地に導入するための実証等を支援**します。

<事業目標>

高温環境に適応した持続的な栽培体系の構築

<事業の内容>

高温対策栽培技術等の実証支援

270百万円

農業者、農業者団体、行政などの地域の関係者が取り組む高温耐性品種の導入、高温対策栽培技術の取組等を組み合わせた高温対策栽培体系への転換に向けた実証を支援します。

【補助率：1/2以内（補助上限600万円/地域）】

（関連事業）

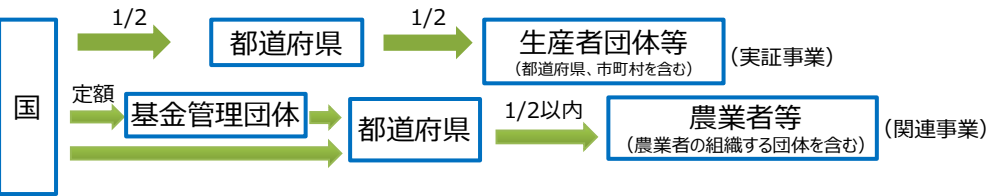
産地生産基盤パワーアップ事業

31,000百万円の内数

収益力強化に計画的に取り組む産地に対し、高温対策に必要な農業機械・設備の導入等を支援します。

【補助率：1/2以内】

<事業の流れ>



<事業イメージ>

高温対策栽培技術等の実証



新品種への切替え実証

土づくりの実証

- ・ 栽培実証に直接必要となる経費（実証圃の借上げ、種子・苗、資材、土壌分析、堆肥施用等の土づくり、生産物の分析・調査等）を支援（1/2以内）
- ※栽培実証に直接要しない費用は対象外

（関連事業）

高温対策栽培に必要な機械・設備の整備



追肥ドローン

色彩選別機

農業用ハウスの細霧冷房

園地の遮光対策

- ・ 高温対策に必要な機械・設備の導入等を支援（1/2以内）

【お問い合わせ先】 農産局穀物課 (03-6744-2108)
園芸作物課 (03-6744-2113)
果樹・茶グループ (03-6744-2117)
地域作物課 (03-3502-5963)